

消防水利

【消防水利の例】

- ①消火栓 ②私設消火栓 ③防火水そう ④プール ⑤河川・溝等 ⑥濠・池等 ⑦海・湖
- ⑧井戸 ⑨下水道

【消防水利の吸水能力】

- ・消防水利は、常時貯水量が 40m^3 以上または取水可能水量が毎分 1m^3 以上で、かつ、連続40分以上の給水能力を有するものでなければならない。
- ・消火栓は呼称65の口径を有するもので、直径 150mm 以上の管に取り付けられていなければならない。ただし、管網の一辺が 180m 以下となるように配管されている場合は、 75mm 以上とすることができる。
- ・私設消火栓の水源は5個の私設消火栓を同時に開弁した時、上記に規定する給水能力を有するものでなければならない。

【消防水利の配置】

- ・消防水利は市街地または準市街地の防火対象物から1の消防水利に至る距離が、下記に掲げる数値以下となるように設けなければならない。

	年間平均風速 4 m毎秒未満	年間平均風速 4 m毎秒以上
近隣商業地域・商業地域・工業地域・工業専用地域	100m	80m
その他の用途地域および用途地域の定められていない地域	120m	100m

- ・市街地または準市街地以外の地域で、これに準ずる地域の消防水利は、当該地域内の防火対象物から1の消防水利に至る距離が、 140m 以下となるように設けなければならない。
- ・消防水利が、指定水量の10倍以上の能力があり、かつ取水のため同時に5台以上の消防ポンプ自動車部署できるときは、当該水利の取水点から 140m 以内の部分には、その他の水利を設けなくてよい。

【消防水利の構造】

- ・消防水利は、次の各号に適合するものでなければならない。
 - ①地盤面からの落差が 4.5m 以下であること。
 - ②取水部分の水深が 0.5m 以上であること。
 - ③消防ポンプ自動車が容易に部署できること。
 - ④吸管投入孔のある場合は、その1辺が 0.6m 以上または直径が 0.6m 以上であること。